

## 「自粛と経済のバランスのとり方について西田議員の見解は？」

令和2年4月29日

### ●ぷーさん社長さんからの質問

新型コロナウイルスの影響により、国全体での自粛を行っていますが、一方で中小零細企業を中心に倒産件数が増加しています。資金繰りを考えても、夏場から年末にかけて、さらに倒産する企業が増加することは間違いのない状況です。自粛が最優先なのは当然ですが、一方で経済とのバランスを考えなければいけないタイミングに来ていると思います。どのような経済対策が有効なのかを含め、自粛と経済のバランスのとり方について、西田議員の見解をお聞かせください。

### ●西田昌司の答え

現時点では新型コロナウイルスの蔓延を防ぐことを第一にしなければなりませんし、自粛は致し方ありませんが、一方で経済活動の停滞による被害も極めて深刻となっており、こちらも大問題です。

緊急事態宣言は5月6日までとなっていますが、今の状況を考えると延長すべきという意見もあります。安倍総理は専門家から意見を聞いて決断されるでしょうが、私は延長もやむを得ないと思います。緊急事態宣言をしたことによって新規感染者数が減ってきていますし、東京都の一日の感染者数も約2週間ぶりに三桁から二桁にまで下がりました。国民の自粛協力のお陰でここまで感染が抑えられているのですが、何故ここまでする必要があるかという、医療崩壊を何としても回避しなければならないからです。

感染者が激増して病院に詰めかけると、キャパシティを超えてしまって治療を受けられない人も出てきてしまいます。そのような事態となると、新

型コロナウイルス以外の患者までもが治療が受けられなくなってしまって、大変なことになってしまいます。そうならないためにも、今はなるべく接触機会を減らして時が過ぎるのを待つ以外ありません。

新型コロナウイルスのワクチンが開発されて、皆が免疫力を高めることで重症化を防ぐことができたり、あるいはアビガン等の特效薬が認可されて（私は、アビガンが早く認可されることを望んでいます）、たとえ感染したとしても治療できるといった状況となった時、V字回復のスタートを切ることができます。現時点ではまだ目途は立っていませんが、今年中にはそのような状況になるでしょう。そうなった時、消費税をゼロにして消費を喚起すれば、これまでの自粛のストレスを発散したい気持ちがバネとなって一気に経済が回り始めて、必ずやV字回復となります。

（今の自粛路線ではなく）感染者数を意図的に増やしていった集団免疫を獲得すべきとの意見もあります。自粛による経済の停滞を何とかしたいという考えからでしょうし、理解はできますが、もしも医療崩壊が起こってしまったらと考えると今の段階ではすべきではありません。

しかし、国民に自粛を求めるだけでは倒産等の被害が拡大する一方となりますので、そうならないためにも迅速かつ十分な資金の供給が何としても必要です。現在、雇用調整助成金による休業補償等を行っていますが、今はとにかく事業を継続するための運転資金の貸付けによってなんとか切り抜けるのが肝心であります。

日本政策金融公庫による無利子（当初3年間で実質無利子）・無担保・5年間据え置き貸し付け制度が利用できますが、それだけでなく民間金融機関等による同様の貸し付けも可能となるよう準備が進められており、現在審議中の補正予算が通ったら実現します。今は借金を気にすることなく思い切り借りていただいて、人件費や家賃やリース料といった固定費の支払いに充てて事業を継続してください。新型コロナウイルスが終息して経済がV字回復してきたら事業を再開できるようになります。その時点で嵩んでし

まっている借金については政府が肩代わりをすれば何の心配も要りません。

政府が肩代わりをしないので結局は倒産、ということになってしまうと、何のために借金までして事業を継続したのかがわからなくなってしまいます。事業を続けるためにも、これまで借金をして払っていた固定費については政府が面倒を見るという太っ腹によってはじめて V 字回復も可能となるのです。コロナ騒動がなかったらそもそも借りる必要のなかったおカネでありますし、二重ローンによって国民を苦しめるようなことがあっては絶対になりません。

先日、私は官邸を訪れて以上のような内容を安倍総理にもお願いしてきましたが、安倍総理も非常に理解をされていました。これから間違いなくそのような方向による救済がされることになると思います。今はとにかく、事業継続を諦めることのないよう、どうかよろしく願いいたします。

反訳：ウッキーさん

Copyright : 週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>